

貸借対照表

(2025年3月31日現在)

株式会社東急ホテルズ

(単位：千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
流動資産	7,603,169	流動負債	9,551,977
現金及び預金	94,328	買掛金	342,093
売掛金	2,950,469	短期借入金	6,000,000
原材料及び貯蔵品	296,130	未払金	572,690
前払費用	665,295	未払費用	2,068,711
未収入金	1,074,732	未払法人税等	270,820
短期貸付金	2,518,204	契約負債	156,662
その他	6,579	前受金	39,799
貸倒引当金	△ 2,571	預り金	76,010
固定資産	7,817,986	その他	25,188
有形固定資産	1,837,285	固定負債	2,241,532
建物	1,395,368	長期預り金	1,502,002
構築物	1,056	資産除去債務	739,530
機械装置	16,974	負債合計	11,793,510
車両運搬具	0	(純資産の部)	
工具器具備品	420,607	株主資本	3,627,645
建設仮勘定	3,278	資本金	100,000
無形固定資産	10,808	資本剰余金	1,104,374
電話加入権	3,930	資本準備金	25,000
施設利用権	8	その他資本剰余金	1,079,374
ソフトウェア	6,869	利益剰余金	2,423,271
投資その他の資産	5,969,892	その他利益剰余金	2,423,271
関係会社株式	91,777	繰越利益剰余金	2,423,271
長期貸付金	60,000		
長期前払費用	30,643		
敷金及び保証金	5,172,200		
繰延税金資産	596,107		
その他	19,163	純資産合計	3,627,645
資産合計	15,421,156	負債・純資産合計	15,421,156

損益計算書

2024年4月1日から

2025年3月31日まで

株式会社東急ホテルズ

(単位：千円)

科 目	金 額	
売上高		42,220,077
売上原価		3,501,210
売上総利益		38,718,866
販売費及び一般管理費		36,428,054
営業利益		2,290,812
営業外収益		
受取利息及び配当金	4,712	
営業保証金受取益	3,652	
宿泊税報奨金受取益	3,293	
貸倒引当金戻入益	2,299	
その他の営業外収益	4,410	18,368
営業外費用		
支払利息	48,177	
過年度分保守料	11,084	
その他の営業外費用	5,976	65,238
経常利益		2,243,942
特別利益		-
特別損失		
減損損失	18,007	
竣工撤去損	35,165	
子会社株式評価損	45,946	
固定資産除却損	13,624	112,743
税引前当期純利益		2,131,199
法人税、住民税及び事業税		315,853
法人税等調整額		△ 607,925
当期純利益		2,423,271

個 別 注 記 表

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

1. 資産の評価基準及び評価方法

(1) 有価証券

イ. 子会社株式

移動平均法による原価法

ロ. その他有価証券

市場価格のない株式等

移動平均法による原価法

(2) 原材料及び貯蔵品

総平均法による原価法

(貸借対照表価額は収益性の低下に基づく簿価切下げの方法により算定)

2. 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産（リース資産を除く）：定額法

無形固定資産（リース資産を除く）：定額法

ただし、ソフトウェア（自社利用分）については、社内における利用可能期間（5年）に基づく定額法によっております。

リース資産：定額法

リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法によっております。

3. 引当金の計上基準

(1) 貸倒引当金

期末現在に有する売掛金等の債権の貸倒による損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上しております。

4. 収益及び費用の計上基準

(1) サービスの提供に係る収益認識

当社の顧客との契約から生じる収益は、主にホテルにおける宿泊、料飲及び宴会サービスの提供によるものです。宿泊サービスにおいては、宿泊客がチェックインした日に収益を認識し、連泊する宿泊客については1日ごとに収益を認識しております。料飲サービスにおいては、利用客への料飲サービスの提供が完了した時点で収益を認識しております。宴会サービスにおいては、宴会・会合等が開催された日に収益を認識しております。なお、これらのサービスの提供のうち、当社が代理人に該当すると判断したものについては、顧客から受取る対価の総額から委託先に対する支払額を差し引いた純額で収益を認識しております。

(会計上の見積に関する注記)

1. 固定資産の減損

(1) 当事業年度の計算書類に計上した金額

有形固定資産及び無形固定資産 1,848,094 千円
減損損失 18,007 千円

(2) 減損損失を計上した資産グループの概要及び経緯

(単位：千円)

場所	所在地	用途	種類	金額
京都東急ホテル東山	京都府	店舗	建物、工具器具備品等	8,163
川崎キングスカイフロント東急REIホテル	神奈川県	店舗	建物、工具器具備品等	9,843

当社は、キャッシュ・フローを生み出す最小単位として、店舗を基本単位としてグルーピングしております。営業活動から生じる損益が継続してマイナスである店舗における資産グループの帳簿価額を回収可能価額まで減額し、減損損失（18,007 千円）として特別損失に計上しました。

なお、当該資産グループの回収可能価額は正味売却価額あるいは使用価値によって算定しております。正味売却価額は、売買事例を基に算定した時価により評価しております。また、使用価値は、将来キャッシュ・フローを 5.0% で割引いて算定しております。

(貸借対照表等に関する注記)

1. 記載金額は千円未満の端数を切り捨てて表示しております。

2. 有形固定資産減価償却累計額 10,055,168 千円

3. 関係会社に対するものが次のとおり含まれております。

短期金銭債権 3,641,105 千円
長期金銭債権 784,619 千円
短期金銭債務 6,930,916 千円
長期金銭債務 1,211,237 千円

(損益計算書に関する注記)

1. 記載金額は千円未満の端数を切り捨てて表示しております。

2. 関係会社に対するものが次のとおり含まれております。

営業収益のうち関係会社との取引高 129,494 千円
営業費用のうち関係会社との取引高 17,404,020 千円
営業取引以外の関係会社との取引高 50,995 千円

(株主資本等変動計算書に関する注記)

1. 記載金額は千円未満の端数を切り捨てて表示しております。

2. 発行済株式の種類及び総数に関する事項

(単位：株)

	当事業年度期首	増加	減少	当事業年度末
発行済株式				
普通株式	72,000	—	—	72,000
A 種優先株式	68,750	—	—	68,750
合 計	140,750	—	—	140,750

3. 当事業年度中に行った剰余金の配当に関する事項
2024年8月19日の臨時株主総会において、次のとおり決議しております。
- ・A種優先株式の配当に関する事項
配当金の総額 259,071 千円
1株当たり配当額 3,768 円
基準日 2024年3月31日
効力発生日 2024年8月23日

(税効果会計に関する注記)

繰延税金資産及び繰延税金負債の発生の主な原因別の内訳

繰延税金資産	
繰越欠損金(※1)	12,597,367 千円
減損損失	1,057,171 千円
契約負債	13,427 千円
資産除去債務	233,100 千円
関係会社株式評価損	116,173 千円
未払事業所税	39,576 千円
未払事業税	28,794 千円
貸倒引当金	847 千円
その他	7,341 千円
繰延税金資産小計	14,093,798 千円
税務上の繰越欠損金に係る評価性引当額(※1)	△ 12,398,222 千円
将来減算一時差異等の合計に係る評価性引当額	△ 1,088,001 千円
評価性引当額小計	△ 13,486,223 千円
繰延税金資産合計	607,575 千円
繰延税金負債	
資産除去債務に対応する除去費用	△ 7,311 千円
譲渡損益調整勘定	△ 4,155 千円
繰延税金負債合計	△ 11,467 千円
繰延税金資産の純額	596,107 千円

(※1)税務上の繰越欠損金及びその繰延税金資産の繰越期限別の金額

	1年以内	1年超 2年以内	2年超 3年以内	3年超 4年以内	4年超 5年以内	5年超	合計
税務上の繰越欠損金(a)	-	-	-	-	-	12,597,367	12,597,367 千円
評価性引当額(b)	-	-	-	-	-	12,398,222	12,398,222 千円
繰延税金資産(c)	-	-	-	-	-	199,145	199,145 千円

- (a) 税務上の繰越欠損金は、法定実効税率を乗じた額であります。
- (b) 「5年超」の区分については、翌期の課税所得発生が見込まれることから、当該翌期分に限り繰延税金資産を認識し、その他の超過分については評価性引当額を計上しております。

(金融商品に関する注記)

1. 金融商品の状況に関する事項
- 当社は、資金運用については短期的な預金等に限定し、資金調達については、必要性が生じた場合には、親会社であります東急株式会社より借入をする事としております。
- 営業債権である売掛金は、顧客の信用リスクに晒されておりますが、業務会計事務取扱規程に従い、各店舗が取引先の状況を定期的にモニタリングし、取引相手ごとに期日及び残高を管理するとともに、財務状況等の悪化等による回収懸念の早期把握や軽減を図っております。

2. 金融商品の時価等に関する事項

2025 年 3 月 31 日における貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、次のとおりであります。なお、市場価格のない株式等(貸借対照表計上額 91,777 千円)及び長期預り金(貸借対照表計上額 1,502,002 千円)は、次表には含めておりません。また、現金及び預金、売掛金、短期貸付金、買掛金、短期借入金並びに未払金については、短期で決済されるため時価が帳簿価格に近似することから、注記を省略しております。

(単位：千円)

	貸借対照表計上額	時価	差額
(1) 長期貸付金	60,000	60,822	822
(2) 敷金及び保証金	5,172,200	3,189,306	△1,982,893
資産計	5,232,200	3,250,129	△1,982,071

(注) 時価の算定に用いた評価技法及びインプットの説明

金融商品の時価を時価の算定に用いたインプットの観察可能性及び重要性に応じて、以下の 3 つのレベルに分類しております。

レベル 1 の時価：同一の資産又は負債の活発な市場における（無調整の）相場価格により算定した時価
レベル 2 の時価：レベル 1 のインプット以外の直接又は間接的に観察可能なインプットを用いて算定した時価

レベル 3 の時価：重要な観察できないインプットを使用して算定した時価

(1) 長期貸付金

元利金の合計額と、当該債権の残存期間に対応する国債の利回りに基づいた利率を基に、割引現在価値法により算定しており、レベル 2 の時価に分類しております。

(2) 敷金及び保証金

差入金の合計額と、当該債権の残存期間に対応する国債の利回りに基づいた利率を基に、割引現在価値法により算定しており、レベル 2 の時価に分類しております。

(関連当事者との取引に関する注記)

1. 親会社

種 類	会社名	住 所	資本金又は出資金 (千円)	事業の内容	議決権等の所有(被所有)割合(%)	関係内容		取引の内容	取引金額 (千円)	科目	期末残高 (千円)
						役員の兼任等	事業上の関係				
親 会 社	東急㈱	東京都渋谷区	121,724,981	不動産賃貸業	(被所有) (直 接) 100.0	役 員 1 名	資金の借入	資金の借入 利息の支払	6,000,000 48,177	短期借入金	6,000,000

取引条件及び取引条件の決定方針等

- (注) 1. 当社は主として一般市場価格を勘案し、個々の取引ごとに取引条件を決定しております。なお、資金借入については、市場金利を勘案して借入利率を合理的に決定しております。
2. 上記金額のうち、取引金額には消費税等を含めておりません。期末残高には消費税等を含めております。

2. 兄弟会社等

種 類	会社名	住 所	資本金又は出資金 (千円)	事業の内容	議決権等の所有(被所有)割合(%)	関係内容		取引の内容	取引金額 (千円)	科目	期末残高 (千円)
						役員の兼任等	事業上の関係				
親会社の子会社	東急ファイナンスアンドアカウンティング㈱	東京都渋谷区	100,000	金銭の貸付、財務処理業務代行他	なし	—	資金の貸付	利息の受取(注)1 資金の貸付(注)2	2,180 2,637,747	短期貸付金	2,503,204
	東急ホテルズ&リゾーツ㈱	東京都渋谷区	100,000	ホテル運営業務受託	なし	役 員 2 名	ホテル運営業務委託先	ホテル運営業務委託料の支払 ホテル営業資金の回収	1,661,555 14,919,396	未収入金	1,068,473

取引条件及び取引条件の決定方針等

- (注) 1. 一般的な取引条件で行っております。
2. 資金の貸付はキャッシュマネジメントシステムによるものであり、取引が反復的に行われているため、取引金額は期中の貸付額の平均残高を記載しております。
3. 上記金額のうち、取引金額には消費税等を含めておりません。期末残高には消費税等を含めております。

(1 株当たり情報に関する注記)

- | | |
|------------------|-----------------|
| 1. 1株当たりの純資産額 | △335,459 円 78 銭 |
| 2. 1株当たりの当期純利益金額 | 29,757 円 23 銭 |
- (1) 1株当たりの純資産額の算定にあたり、純資産額から優先株式発行にかかる払込額 27,500,000 千円、および未払優先配当額 280,750 千円を控除しております。
- (2) 1株当たりの当期純損失額の算定にあたり、当期純利益から優先株式配当額 280,750 千円を控除しております

(重要な後発事象に関する注記)

該当事項はありません。

(収益認識に関する注記)

収益を理解するための基礎となる情報

「重要な会計方針に係る事項に関する注記」の「収益及び費用の計上基準」に記載のとおりであります。

(その他の注記)

1. 子会社の清算

当社は、2024 年 4 月 26 日をもって、100%子会社である株式会社赤坂エクセルホテル東急（本社：東京都千代田区永田町 2-14-3、代表清算人 渡島寿二、資本金 10,000 千円、設立 2002 年 3 月 12 日）の清算を完了いたしました。本件取引に係る清算益 778 千円は当期に営業外利益として計上しております。

なお、清算後の偶発債務及び保証債務は存在しておりません。

2. 子会社株式の譲渡

当社は、2025 年 4 月 1 日をもって当社が保有する下記 23 社の普通株式合計 158,100 株を、東急ホテルズ&リゾーツ株式会社（本社：東京都渋谷区南平台町 5-6、代表取締役社長 村井淳）に対して譲渡する契約書を、2025 年 2 月 28 日をもって締結いたしました。

株式会社ザ・キャピトルホテル東急、株式会社セルリアンタワー東急ホテル、株式会社横浜ベイホテル東急、株式会社名古屋東急ホテル、株式会社京都東急ホテル、株式会社金沢東急ホテル、株式会社伊豆今井浜東急ホテル、株式会社下田東急ホテル、株式会社白馬東急ホテル、株式会社宮古島東急ホテル&リゾーツ、株式会社羽田エクセルホテル東急、株式会社富山エクセルホテル東急、株式会社松江エクセルホテル東急、株式会社博多エクセルホテル東急、株式会社高松東急 REI ホテル、株式会社松山東急 REI ホテル、株式会社関東東急ホテルズ、株式会社関西東急ホテルズ、株式会社札幌東急ホテルズ、株式会社東急 REI ホテル・ウエスト、株式会社富士山三島東急ホテル、株式会社新宿東急ホテルズ、株式会社東急ホテルパートナーズ

本譲渡の精算価額は 2025 年 3 月 31 日時点における対象会社の純資産確定額 443,503 千円であり、当期に子会社株式評価損 45,946 千円を特別損失として計上しております。